

感動の瞬間に立ち会えたことに感謝

10月22日(木)に3年生にとっては、最後の「合唱コンクール」が行われました。本当に素晴らしい時間をありがとうございました。プレ合唱が終わった後に「うまさは伝わるけど、感動はしませんでした」と伝えたことを覚えていますか？そこからの一週間、放課になれば教室、廊下、階段から歌声が聞こえてくる、教室を覗けばリーダーやパートごとに集まって話し合いをしている姿がありました。プレ合唱コンでも、歌声は聞こえるし、話し合っている様子はありました。でも、プレ合唱コンが終わった後の空気とは違っていました。何が変わったという明確なものはないと思いますが、心に何か伝わってくる「想い」の変化が歌声や表情に現れたのだと思います。

そして、22日の「合唱コンクール」本番では、学年合唱の「満ちてゆく」の前奏から会場の雰囲気が一変しました。「これはとんでもないことが始まる合図」のように感じました。その後の32学級をトップバッターに3年生の学級の合唱が始まりました。トップバッターは緊張との戦いですが、そんなことを感じさせない圧巻の歌声でした。あとに続く学級の気持ちを高めたのは32学級だったとだと思います。その流れを受け継いで34学級、36学級と続いたところで、DVDの撮影に来ていたカメラマンの方がそばまで来て「3年生の合唱すごいですね」と話しかけてくださいました。初めて聞く人に伝わる歌というのは素晴らしいですね。35学級、31学級と続き最後は33学級でした。最後というのは緊張していたと思いますが、そんなことは今の3年生には関係ありませんでした。33学級の最後の歌声が体育館に何とも言えない響きを残し、合唱コンクールは終わりを迎えました。緊張から解き放たれて一気にみんなの表情がほころぶ様子を見て、本当にここまで一生懸命に頑張ったんだとあらためて感動させられました。6クラスすべてがギリギリまで努力し続ける姿はこの学年の合唱のレベルをどんどん高めてくれたと思います。

先生は音楽の専門ではないのでうまく伝わるかわかりませんが各学級の合唱を聞いた感想を少しだけ書かせてもらいたいと思います。とにかく全学級すばらしかったです！



31学級「ひとつの朝」

担任の先生の熱い思いを受けて選ばれた曲で、6クラス唯一の4部合唱でした。練習ではテノールが男性なのに高い音域ということでもかなり苦しんでいたと思います。階段から何度も何度も聞こえてくる声のいつの間にか楽しみのようになっていました。「お！今日いい感じ」なんて職員室にいる先生と話していました。ソプラノの声が響き渡り、合唱練習をリードし、アルトが男声とのつなぎとしてしっかりと役目を果たし、バスがすべてを土台として支える様子が合唱を通して伝わってきました。前奏からの「今、目の前に～」はピアノとの相性も抜群で圧巻のはじまりでした。高校生が歌うくらいの合唱だと審査員の先生から聞いたときはビックリしました。感動をありがとう。

32学級「ヒカリ」

「担任の先生に最優秀賞を！」と口にする生徒が多くいる素敵なクラスでしたね。でも、それだけが原動力ではなかったと思います。「この学級で！」「このヒカリという曲で！」という思いが伝わってくる合唱練習の日々だったと思います。廊下に響くソプラノは全学級の合唱練習をリードしていたように思います。前奏がほぼないに等しい曲なので入りの空気感が難しい曲ですが、トップバッターでばっちり決めていて一気に引き込まれました。入りも好きですが、先生は「もしも～」からの部分が2組ののびのびとした明るい雰囲気が出ていてとても素敵だなと思いました。感動をありがとう。



33学級「僕らはいきものだから」

ソプラノの声が学級の課題だったのかな？と思って練習を見ていました。その課題と向き合う中で「声が出ないんだから仕方ないじゃん…」とあきらめムードになっていくのではなく、みんなで「どうにかしたい！」という気持ちがあり続けたのが3組のすばらしいところだったと思います。「僕らはいきものだから」という歌詞も始まりは語り掛けるような優しい入り、後半には「辛いことや困難だって、出会いや別れだって、いろんなことを経験するから今の僕らがいる！」というようにこれまでの自分たちを自信に変えていくという力強さに変わっていく雰囲気がとても素敵でした。最後の体育館に声の響きが残るのがとても良かったです。感動をありがとう。

34学級「虹」

合唱コンクールでよく歌われる曲ですが、歌う学級らしさがよく出る曲でもあると思います。4組はどんなふうに歌うのかな？なんて楽しみにしていました。プレ合唱の時に聞いたときは「歌詞」があまり聞こえて来なくて少し残念だなと思っていましたが、本番ではしっかりと歌詞が届いてきました。「広がる～」が始まっていき「きらめく～」の少し手前から男性が入っていくところの空気感がとても素敵でした。この曲の見せ場である「僕らの～」のサビでは伸びやかな雰囲気がとても素敵でした。音程を丁寧に取っている様子から学級での練習の様子がうかがえるようでした。感動をありがとう。



35学級「足跡」

アルトの声がしっかりと聞こえてくるという印象がありました。アルトは音程が難しくソプラノと男性に挟まれている立場で難しさがあると思います。しかし、アルトがいないとソプラノと男性をつなぐ役目がなくなってしまいます。言葉が多いこの曲をどんなふうに歌うのかなと思いながら聞いたプレ合唱では、言葉に負けていたと思います。しかし、そこからたくさん練習を重ねたことが伝わるように本番では、強弱まではっきりしていました。絶対に最優秀賞を取ってやる！という強い意志が歌からも感じられました。教室に日々増えていく掲示物がみんなの頑張りの足跡になっていましたね。感動をありがとう。

36学級「Replay」

水龍祭が終わった時に「合唱コンでは！」と話していたのを思い出しました。「同じ朝は二度とない」という歌詞、6組にふさわしい曲だったのではないのでしょうか。合唱コンクールへ向かう、毎日の取組は体育祭以上の日々を過ごしていたと思います。歌い終わった後に何人かの先生が「6組の歌はグッとくるものがある」と話していました。きっとみんなの「想い」が言葉に乗って届いたのだと思います。先生は「笑いたい 泣きたい 怒りたい 叫びたい」の6組の歌い方がとても好きです。本当にいろいろな感情を経験した6組だからこそ表現することができたと思います。この学級の仲間と過ごした時間を Replay することはできませんが、この時間を胸に卒業までの時間を大切にしてください。感動をありがとう。



学年合唱「満ちてゆく」

この曲は先生も初めて聞く曲で大きな盛り上がりがあるわけではなく、きれいに流れていくような曲という印象でした。また、4部合唱ということもあり練習が大変だろうなと思いました。練習の時間が少ないということもあり、有志で先に歌えるようになってくれる人を募集したところ多くの人に参加してくれました。この人たちのおかげで練習のペースが上がったと思います。本当にありがとうございました。初めて全パートで合わせたときのことが今でも忘れられません…。「大丈夫か？間に合うのか？」「先輩としての背中を見せられるのか？」と不安を感じてしまいました。そんな中でも担任の先生たちは「この子たちなら大丈夫…」と信じて見守ってくれていたと思います。みんなを「信じる」ことができる理由は、「1年生からこれまでの頑張りを知っているから」だと思います。何も分からなかった1年生、少しわかってきたと思ったら自立するときだと突き放された2年生、最高学年なんだからと自分たちでやるしかない3年生とたくさんの経験をしてきたから信じられたのだと思います。

「3年生はよく声が出る」とほめてもらいました。先生は「2年生の時に応援団をやったからかな」と思いました。人前で全力で声を出すことが当たり前になっていたみんなからしたら、合唱で声を出すのなんて当たり前なんだと思います。「リーダーの指示がしっかりと出ていていいですね」と言われたこともあります。いろいろな行事で実行委員会を中心に自分たちで活動してきたみんなからしたら、指示を出すのも、自分たちで考えるのも、仲間の指示に耳を傾けるのも当たり前だったんでしょうね。そんなみんなだから担任の先生たちはみんなを信じていたのでしょう。そして、みんなを陰でいつも支えてくれる「担任の先生」の存在があったからこそ自信をもって挑戦し続けられたのでしょう。そんな今までのすべてが詰め込まれた「満ちてゆく」は本当にすばらしいものになったと思います。歌い出す前の空気から「これは3年生にしか出せない空気だな」と感じました。女子が歌詞を歌い、男子がコーラスで支える、男子が歌詞を歌い、女子がコーラスで支えるところが先生はとても好きでした。

次は、まごフェスです。来場するすべての人を楽しませるだけでなく、この仲間とつくるまごフェスのかけがえない時間を全力で楽しんでください。合唱では、ライバルだった学級もまごフェスでは一緒に盛り上げる仲間になると思います。お互いにアドバイスやアイデアを共有し合ってこの仲間学年にしかないお祭りにしましょう。毎年、学級で盛り上がっていてみんなも担任の先生も楽しそうなので、今年は先生も参戦させてもらおうかと企んでいますので…お楽しみに…。





10月31日（土）まごころフェスタについて

持ち物	☐ 弁当 ☐ 水筒 ☐ 防寒着（必要な人） ☐ 雨具 ☐ ブースごとに必要な服装（制服、ジャージ、クラスＴシャツなど、各クラスで確認してください。ただし、 華美な服装は控えましょう。 <u>お客様をもてなす立場としてふさわしい身なりにしましょう。</u>) *お金・スマホは持ち込み禁止です。 *当日は、リュックまたは手提げバッグ等で登校可です。
8:10 ～ 8:20	登校 ・仕事がある場合は7:40から登校可。（担任の先生に確認する） [*注意点*] ・外での仕事がある人は、防寒着を持参する。雨天時の対応も考えておきましょう。（カッパ・傘など） ・全員、 徒歩で登校 してください。（駐輪場は、地域の方が利用します。）
8:20 ～ 8:30	朝の会 ・全員教室で行う。朝の会終了後、それぞれの動きに移る。 各ブースへは、かばん（水筒、パンフレット、体育館シューズ、防寒着、工作上必要な物等）を持っていく。 ・弁当は 指定された場所 に置いていく。各クラスでまとめて置きます。 【弁当を置く場所】 1～3組 → 2階少人数教室（1組横） 4～6組 → 2階少人数教室（3組横）
8:30 ～ 9:30	活動場所の準備 ・各クラスで、この時間に何を準備するかを考えておきましょう。
9:30 ～	オープニングセレモニー（体育館前方） ・ブースの準備がある生徒はそちらを優先するため、参加できる生徒のみ体育館で鑑賞する。
10:00 ～ 13:00	ブースオープン、有志発表スタート ・各クラスで決められた割り当てを必ず守りましょう。お客さんをもてなす立場を忘れずに！
昼食について(11:00～12:30の間に食事をとること) 【昼食をとる場所】 1～3組 → 2階少人数教室（1組横） どちらも 11:00 までは 4～6組 → 2階少人数教室（3組横） 教室に鍵をかけています。 時間：各学級で割り振られた時間 *名簿でチェックをします。 必ず食事をとってください。 *食べ物ブース（2年生担当）で購入したり、保護者などに購入してもらったものを校内で食べたりはしません。	
13:00 ～ 13:30	クロージングセレモニー ○校長先生の話 ○吹奏楽部の演奏 ○生徒会長の話 *生徒はブースの片づけを行います。
下校	・帰りの会、片付け（13:30～15:15）は学級ごとに行う。 ・ 13:40よりも早く下校しない。 また、全員 西門から帰宅 します。（生徒の下校と来場者や業者との帰りが重なり、混雑することを避けるため）

「来週以降の予定」

日	曜	内容	下校
26	月		15:15
27	火		16:10
28	水		16:10
29	木		16:10
30	金	まごフェス準備 給食なし	11:50
31	土	まごフェス(11/2月 代休日)	15:15
11/1	日		

日	曜	内容	下校
2	月	まごフェス代休日	
3	火	文化の日	
4	水	教育相談週間（～11/13）	16:05
5	木	⑤⑥公立高校受検説明会 ⑦なし	15:15
6	金		16:05
7	土		
8	日		